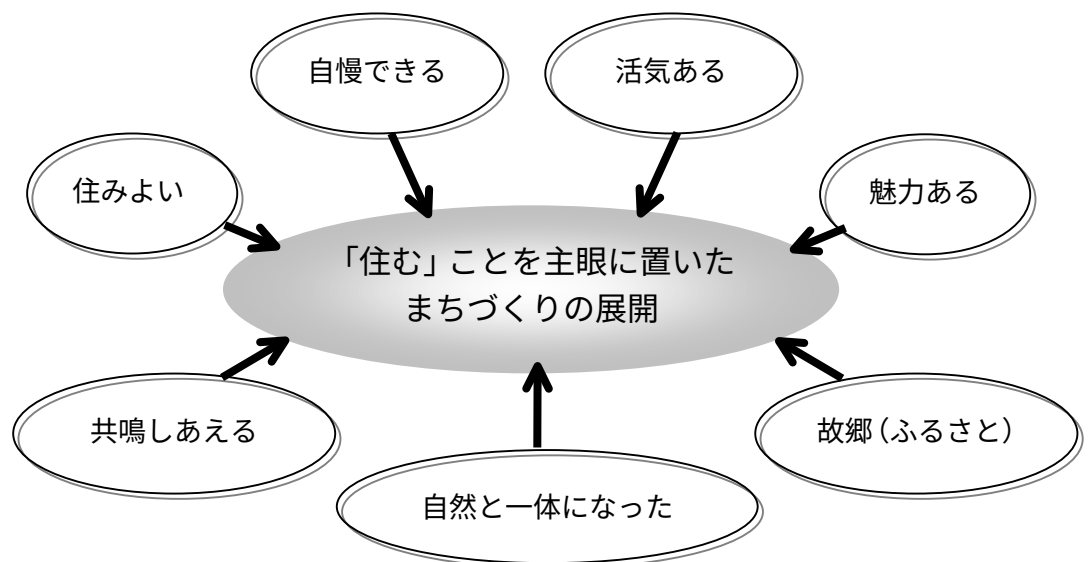


4 まちづくりの基本理念と目標

(1) まちづくりの基本理念

香川のまちづくりのキーワードとして、「住みよい」「自慢できる」「活気ある」「魅力ある」「故郷（ふるさと）」「自然と一体になった」「共鳴しあえる」などがあげられ、「ハード」と「ソフト」の両面から既存の自然を大切にしながら、「住む」ことを主眼に置いたまちづくりを展開していくことが望まれている。

また、茅ヶ崎市全体を見据えた場合も、基本的には「住宅系市街地ゾーン」にあり、市の北部に位置する都市拠点として、交通結節機能と地区拠点機能を強化しながら、生活しやすいまちづくりを展開していくことが必要である。



(2) まちづくりの目標

「住む」ことに主眼を置いたまちづくりを展開するにあたって、以下の4つの視点でまちづくりの目標を定める。

目標1：緑豊かな自然あふれる生活環境の整備を目指す

◆地域の自然資源を保全・活用する

社寺林や古木・大木などは、都市における貴重な自然であり、これらの自然資源を保全し、まちづくりに活かしていく。

◆富士・丹沢の良好な眺望を守る

北部丘陵の斜面緑地のベルトを保全するとともに、貴重となった富士・丹沢方面への良好な眺望を守り、まちづくりに活かしていく。

◆小出川の自然を残す

小出川の水辺空間は、貴重な自然の宝庫であり、水辺特有の昆虫や植物を大切にする心を育みながら、子どもたちの代まで残していく。

目標2：安全で快適な人と車のための道路環境の整備を目指す

◆安全で快適な歩行環境をつくる

道路拡幅により、生活幹線道路において歩道を確保するとともに、信号機やカーブミラーの設置など、道路環境の改善を目指す。

◆幹線道路の交通渋滞を解消する

区域外からの通過交通を排除し、地区内居住者が駅や外周の都市間幹線道路にスムーズにアクセスできるような道路体系とする。また、相模線の利用者増をめざし、端末公共交通の充実を図る。

◆魅力ある散歩道をつくる

当地区には水道道や勘重郎堀など、歴史的にも重要な水路空間が残っている。また、土地区画整理地区内の駒寄川沿いには緑道が整備されており、これらを結び点にする史跡を巡る散歩道とする。

目標3：人がふれあいコミュニティを育む都市環境の整備を目指す

◆地域にふさわしい駅前をつくる

JR相模線の行違い駅化工や複線化に伴う利用者増を見越し、北部の拠点にふさわしい交通結節機能や地区拠点機能が確保された駅前とする。

◆人に優しく人を育てる環境とする

当地区には古くからの居住者に加え、宅地開発に伴う新居住者の増加が予想される。ハード、ソフトの両面から、地域の人々が交流できる環境づくりを目指す。

◆みんなが安心して使える公園を守る

青少年広場をできる限り維持していくとともに、借地による公園整備や小出川の河川敷など、地域交流・活動の場となる空間の確保を目指す。

目標4：住民と行政が知恵を集結し行動する、参加のまちづくりの実践を目指す

◆美しいまちづくりのためのルールを決める

犬の散歩やゴミ出しのルール、夜間の外灯点灯など、美しいまちを維持していくための日常生活のルールを決め、徹底していくとともに、また、都市計画における様々なルールづくりにも積極的に関わっている仕組みとする。

◆みんなが参加し、できることから確実にまちづくりをすすめる

様々なボランティア活動や文化活動、地域のイベントなどを積極的に推奨し、多くの人々がまちづくりに関わられるよう工夫し、住民にもできることから確実にまちづくりを展開していく。